

松阪肉の輸出

竹上 真人 議員
(自民みらい / 松阪市選出)



問

松阪牛をより広め、世界ブランドにするには、海外でも食べられる体制をつくる必要がありますが、輸出には、一体の低温施設内で、決められた大きさまで加工処理するなど、の衛生基準を満たさなければなりません。

松阪食肉公社はその基準を満たしておらず、老朽化も進んでいます。県が近隣市町との調整役となり、輸出ができるような施設整備を目指すべきです。

答

将来、新たな整備が必要と考え、昨年、担当部に検討を指示したところであり、次の知事に期待したいと考えています。

本県の食肉生産流通の業界全体では、輸出への議論が十分になされているとは言えませんが、松阪



食肉公社に対し施設整備の意向などを確認し、その結果を踏まえて、今後の食肉センターの在り方について議論していきます。

その他の質問事項

○産業構造の転換と今そこにある危機ほか

三重武道館の今後の運営

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ / 津市選出)



問

老朽化が進む三重武道館は、これまで県と津市が運営を支援してきました。

津市拠点スポーツ施設エリア構想では、武道場整備が予定されており、三重武道館の単独支援による運営や、県と市の共同建設など、さまざまな運営形態や整備方法が考えられます。



構想の進捗状況も考慮した上で、武道振興の中心的施設の整備について、決意を伺います。

答

平成23年度に、武道館を含む県全体のスポーツ施設の効果的な配置を念頭に置いた、「県営スポーツ施設整備方針」の改訂を予定しています。

津市の構想については、今後、整備方針改訂の検討と合わせ、県の関与の在り方を市と協議しながら検討していきます。

その他の質問事項

○障がい者福祉施策 ほか

志摩病院の指定管理者移行に伴う諸課題

山本 教和 議員
(自民みらい / 志摩市選出)



問

志摩病院の指定管理に向けて、地域医療振興協会が提案した計画書では、救急総合診療科を設置し、7、8人の医師を配置するとありますが、その具体的内容について伺います。

また、平成24年4月から協会による運営となる予定ですが、協会の現地事務所を早く開設し、少しでも地域にとけ込み、住民とふれ合うことが大事だと考えますが、いかがですか。

答

幅広い分野に対応できる総合医を中心にした体制が示され、平成26年度には24時間、365日対応できる二次救急医療体制を整備するとしています。

地域の医療関係機関との調整などに相当の期間や労力が必要となるため、早い段階で現地事務所を設置し、協議を頻繁に進めることが望ましいと考えます。

その他の質問事項

○海と地域振興



県立志摩病院

子ども手当の地方負担

中川 康洋 議員
(公明党 / 四日市市選出)



問

知事は、これまで子ども手当は国の責任により行うべきであり、地方負担は認められないと述べていますが、今こそ全国知事会の子ども手当・子育て支援プロジェクトチームのリーダーとして、国を変え、本気にさせる決意を示すべきです。

答

生存権の保障などに関するものは全国一律で行う国の役割であり、地方に負担を求めることは、現政権の掲げる地域主権が一丁目一番地という理念と合致しません。難しい課題ですが、しっかりと対応していきたいと考えます。

新規高卒者の就職希望実現に支援を

真弓 俊郎 議員
(日本共産党三重県団 / 津市選出)



問

新規高卒者の就職内定状況は厳しく、特に、普通科の高校生の就職内定率は、専門学科に比べて低くなっています。就職することは、社会に出て自分の居場所を見つけるこ